

“失業と健康”研究会

News Letter

第 15 号

2005 年 10 月 12 日発行

Thomas Kieselbach 教授の講演会「失業と健康に関する研究の国際的動向」

EU 5 カ国が 5 年間のプロジェクト研究

就労支援へ社会的対策が必要

ドイツの Kieselbach 教授が 8 月末に岡山で開催された ICOH「仕事とストレスに関する国際会議」の機会に、久留米大学を訪れ、8 月 19 日に熱心な研究者や大学院生を前に講演した。Kieselbach 教授は ICOH の「失業と健康科学委員会」の委員長として、また EU の失業と雇用問題のプロジェクト研究班の班長としてやその他の研究班をもって活躍されている。

講演では EU 5 カ国で行った 5 年間の研究成果 (SOCOSE 00-04) を中心に述べた。内容は失業研究のパラダイム、若年失業者の社会的疎外、ブラックマーケットでの不法就労、企業再構築のための模範的枠組み、転職のための社会的支援、であった。

とくに就労のためのカウンセリング体制の構築が大切で、個別のニーズに合った支援、心理専門家の介入、支援ネットワークの構築および家族の支援が重要である。今後の問題点として、いかに社会的支援を行っていくか、また長期失業に至った問題に対処して行かねばならない。

ICOH「仕事とストレスに関する国際会議」

シンポジウム「失業と健康 - 雇用における影響」

欧州、アジア、アフリカの状況を報告

国状と文化で格差／社会的支援策の樹立が必須

ICOH「仕事とストレスに関する国際会議」(岡山、8 月 23 - 26 日) が開催され、その中で「失業と健康」に関するシンポジウム(座長: 独ブレーメン大学 Thomas Kieselbach 教授・久留米大学的場恒孝名誉教授) が持たれた。

日本では早期退職勧奨者でうつ傾向と怒りの頻度が増加した。権限を持つことからのストレス、残業からのストレスなどは減少した。中国(上海を中心)では地域と学歴による雇用格差が大きく、失業率は 8 ~ 10 % である。失業者は健康保持への意欲が低下していて、社会的支援(精神面と身体面)体制が必要で、家族の支援も大切である。欧州では社会的支援と持続する雇用が必須で、転職カウンセリング体制の普及と支援への早期介入が必要である。また企業の社会的責任(CSR)が大切である。南アフリカの失業率は 30% 余で、対策もこれからである。

第13回研究会 レポート

「医療機関における産業保健活動」 織田 進 (福岡産業保健推進センター)

医師は時間外勤務で過労が続く

女医へのストレス対策と社会的支援を

近年の医療制度改革への急速な動きがある。医療界ではICの導入、派遣労働者、アルバイトの増加、医療訴訟の増加などがあって、医師の労働条件も大きく変わってきた。患者の権利意識が強くなったが、患者の受療への責務が求められるようになった。また医師の労働条件・環境の改善が強く求められる。

711医療機関の調査で、回収率30.6%の結果を報告した。医師の労働時間は雇用条件によって異なっていたが、一般に長時間勤務であった。勤務医では週63時間から24時間であった。当直は月に2～5回であった。医師と総人口を比較すると10万人当たり31.7対27.0で、医師の自殺率は増加している。とくに女医のそれは増えていた。

女医のメンタルヘルスの傾向として、専門性、患者や同僚への満足度は高いが、自律性、地域との関係、報酬、資源に関する満足度は低く、また仕事に対するコントロール度が低かった。バーンアウト症候群への罹患は男性医師の1.6倍であった。子供をもつ女医では同僚や配偶者の支援があれば、オッズ比は40%減少した。

ストレスコントロールへの対策プログラムとして心理専門家の話、対話技法、ストレスへの自己制御法などの教育訓練が基本的に必要である。また女医へはストレス対策の樹立と同時に社会的支援策が必須であることが結論された。

◆第14回研究会(次回)は、'06年3月11日(土曜日)14:00-17:00です。

*予定プログラムは

[1] シンポジウム「不安定就労をめぐって」

1) 不安定就労の背景と現状 的場恒孝(仕事ストレスコーピング研究所)

2) 事例に見る不安定就労と家庭経済 田村昭彦(九州社会医学研究所)

3) 労働法はいかにあるべきか 織田 進(福岡産業保健推進センター)

コメンテーター: 高田和美(産業医科大学客員教授)

[2] 失業に関するトルコ国際会議出席報告 石竹達也(久留米大学環境医学)

*会場: 久留米大学医学部・基礎2号館1Fセミナー室です。

ぜひ、ご参加ください。

◆本誌“News Letter”を入用の方は、お知らせ下さい。

世話人: 的場恒孝(代表)・高田和美・酒井 淳・石竹達也・山岡春夫・児玉英嗣・織田 進

[事務局] (〒830-0011) 福岡県久留米市旭町6-7 久留米大学医学部環境医学教室内

“失業と健康” 研究会

Fax: 0942(31)4370 Tel: 0942(31)7552 E-mail: kankyo@med.kurume-u.ac.jp

お知らせ